

日光国立公園  
(日光地域)

公園計画変更書  
[一部変更]

(環境省案)

平成 年 月 日

環境省



# 目 次

第1	公園計画の変更	1
1	変更理由	1
2	事業計画の変更内容	2
(1)	施設計画	2



## 第1 公園計画の変更

### 1 変更理由

日光国立公園は、昭和9（1934）年12月4日に阿寒、大雪山、中部山岳及び阿蘇国立公園とともに指定された、我が国初期の国立公園の一つである。本公園の西部に位置する日光地域は、栃木県日光市と群馬県片品村にまたがり、尾瀬国立公園と接している。本公園最高峰の白根山をはじめ、男体山、女峰山など2,000mを超える山々が連なり、針葉樹林やミズナラ林などの森林に覆われているほか、中禅寺湖や湯ノ湖などの湖沼、我が国を代表する名瀑である華厳ノ滝をはじめとした多数の瀑布、貴重な湿原植生が見られる戦場ヶ原や小田代原などの高層湿原などがあり、特色のある傑出した景観を呈している。

本地域は、指定以来、社会条件の変化に対応するため、平成9年に公園計画の再検討による全般的な見直し、平成17年に第1次点検を実施したほか、幾度かの利用施設の追加・削除の変更を行っている。

本地域の中禅寺湖畔は、明治～昭和初期にかけて各国の在日外交官の避暑地として、最盛期には40棟以上の別荘が建ち並びヨットや釣りなどが楽しまれていた歴史が特徴であり、近年では、その頃の雰囲気を残す元イタリア大使館別荘及び元英国大使館別荘が、栃木県によって記念公園として整備され、多くの利用者が訪れて人気を博している。

また、本公園は、平成28年に「国立公園満喫プロジェクト」として、世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化し外国人観光客の誘客を図る取組を先行的・集中的に進める8公園の一つに選定されており、その実行計画にあたる「日光国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020」においても、中禅寺湖周辺での水上交通や、イタリア及び英国大使館別荘記念公園が位置する南岸エリアの活性化がうたわれている。

こうした特徴を活かしながら中禅寺湖畔エリアの利用活性化を図るため、民間事業者がイタリア及び英国大使館別荘記念公園付近に新棧橋を設けて送客を行う計画があり、中禅寺湖の新たな魅力創出になると考えられる。

これらを踏まえ、「国立公園の公園計画等の見直し要領」2（3）の「一部変更」のうち、「ウ（前略）自然的、社会的実情に照らして当該公園の保護又は適正な利用に資すると認められる場合」として運輸施設を変更するものである。



2 事業計画の変更内容

(1) 施設計画

利用施設計画の一部を次のとおり変更する。

次の運輸施設を次のとおり変更する。

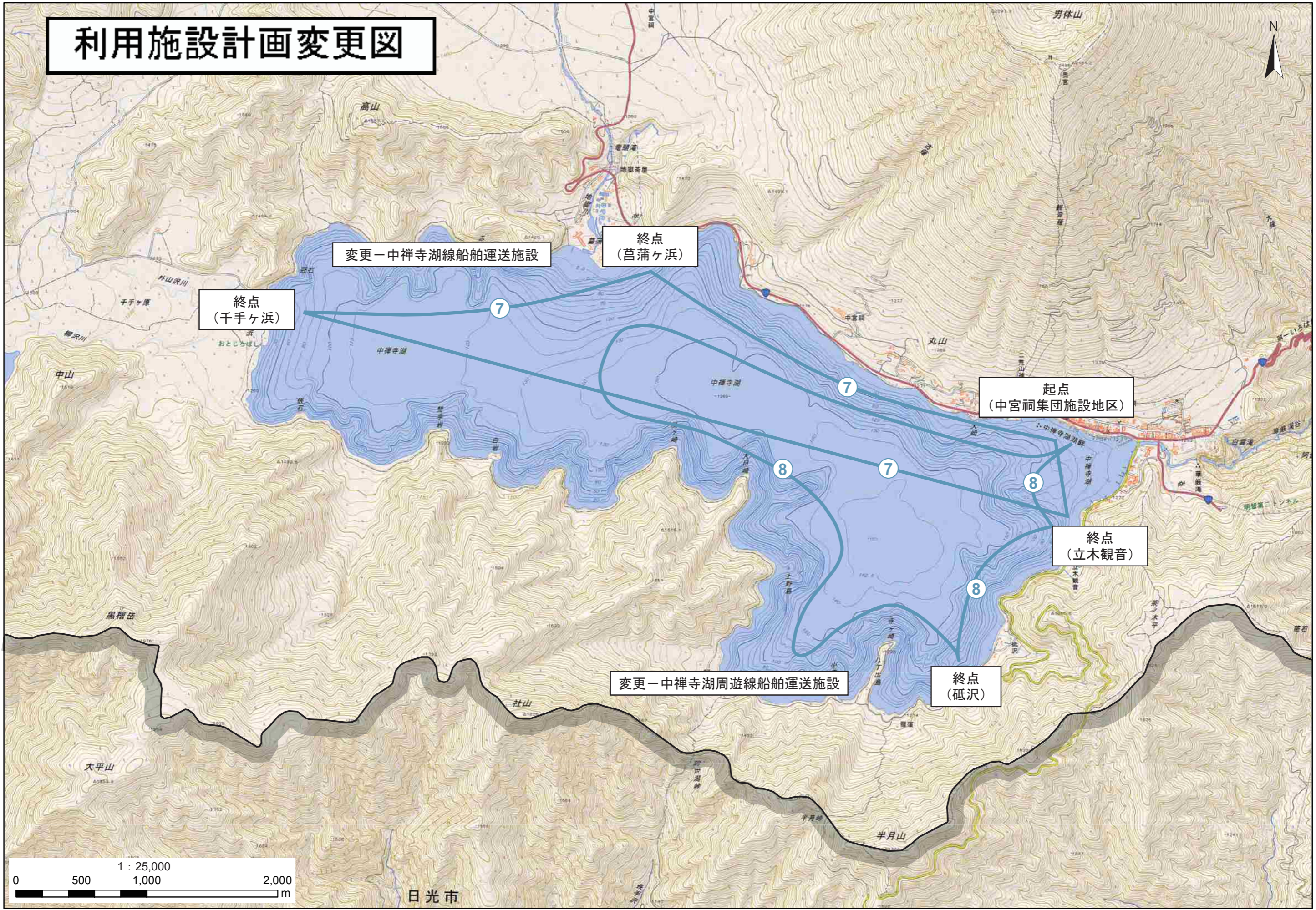
(表1：運輸施設（船舶運送施設）変更表)

現 行					新 規					理 由
番号	路線名	区 間	主要 経過地	告示日	番号	路線名	区 間	主要 経過地	整 備 方 針	
7	中禅寺湖線	起点－栃木県日光市（中宮祠集団 施設地区） 終点－栃木県日光市（菖蒲ヶ浜） 終点－栃木県日光市（千手ヶ浜）		平 17. 7.12 告示	7	中禅寺湖線	起点－栃木県日光市（中宮祠集団 施設地区） 終点－栃木県日光市（菖蒲ヶ浜） 終点－栃木県日光市（千手ヶ浜） 終点－栃木県日光市（立木観音）		中禅寺湖の自然景観を鑑賞しながら、中宮祠集団施設地区、菖蒲ヶ浜、千手ヶ浜及び立木観音等を周遊する船舶運送施設として整備する。	イタリア及び英国大使館別荘記念公園を活かして、中禅寺湖の南岸エリアの活性化を図るため、イタリア大使館別荘記念公園付近に遊覧船による送客を行う。また航路を現況にあわせて整理する。
8	中禅寺湖周遊線	起点－栃木県日光市（中宮祠集団 施設地区） 終点－栃木県日光市（中宮祠集団 施設地区）		平 17. 7.12 告示	8	中禅寺湖周遊線	起点－栃木県日光市（中宮祠集団 施設地区） 終点－栃木県日光市（砥沢） 終点－栃木県日光市（立木観音）		中禅寺湖の自然景観を鑑賞する湖上遊覧のための船舶運送施設として整備する。	





# 利用施設計画変更図



変更—中禅寺湖線船舶運送施設

終点  
(菖蒲ヶ浜)

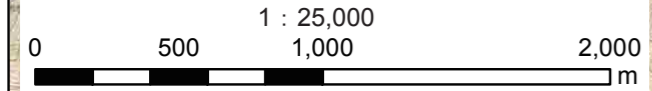
終点  
(千手ヶ浜)

起点  
(中宮祠集团施設地区)

終点  
(立木観音)

変更—中禅寺湖周遊線船舶運送施設

終点  
(砥沢)



日光市







リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。